



◆ 木本類



アカメガシワ
落葉広葉樹・先駆樹種 / 秋田県以南



アキグミ
落葉広葉樹・先駆樹種 / 北海道～九州



イロハモミジ
落葉広葉樹 / 福島県以南



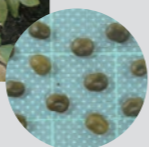
クサギ (シカ不嗜好性植物)
落葉広葉樹・先駆樹種 / 全国



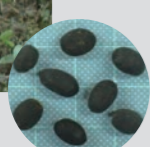
シャリンバイ
常緑広葉樹 / 中部以西



ヌルデ
落葉広葉樹・先駆樹種 / 全国



ネズミモチ
常緑広葉樹 / 中部以西



ハゼノキ
落葉広葉樹・先駆樹種 / 関東以西



ヤマザクラ
落葉広葉樹 / 宮城県以南



◆ 草本類



イタドリ
多年草 / 北海道南部～九州



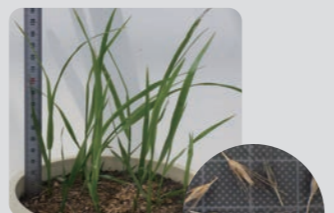
ススキ (シカ不嗜好性植物)
多年草 / 日本全土



カゼクサ (シカ不嗜好性植物)
多年草 / 本州～九州



チカラシバ (シカ不嗜好性植物)
多年草 / 日本全土



※このほかにも多くの植物が播種工で導入できます。
※採種年により豊凶があるため、事前にご相談ください。

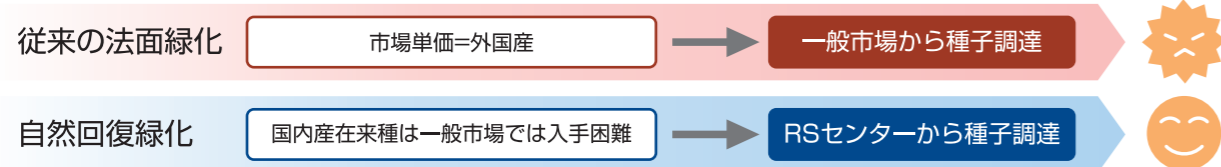
RSセンターを活用した 国内産の在来種による法面緑化



これからの法面緑化では、生物多様性や地域生態系に悪影響を与えない
国内産の在来種による法面緑化が求められています。

特長

- ◆ 外国産の在来種を使用しない法面緑化を実現
- ◆ 外来牧草類を使用しないことで、シカ被害のリスクを低減
- ◆ 様々な緑化工法に活用が可能(オルガソイル工法をはじめとする各種吹付工法)



生物多様性保全上の問題がある外国産種子による法面緑化



外来種
TF, CRF, OG, KBG, TM, BG, BAH, WC, PRG, IRG, BG, RT

外国産在来種
ヨモギ, ススキ, イタドリ, メドハギ, ヤマハギ, コマツナギ

生物多様性に配慮した国内産在来種による法面緑化



国内産在来草本種
チカラシバ, エノコログサ類など

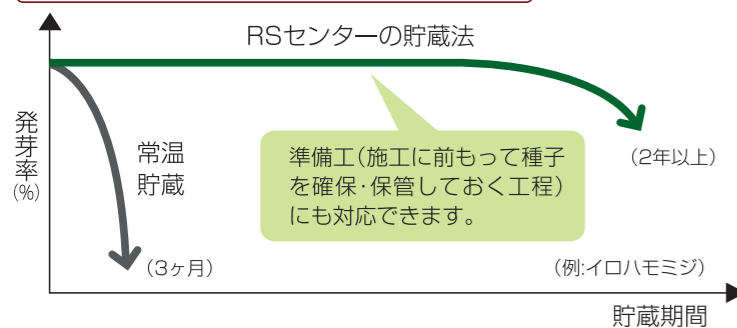
国内産在来木本種
ネズミモチ, イロハモミジ, ヤマハゼなど

※外国産在来種は、国内の固有種との交雑(雑種形成)や、混入した想定外の外来種侵入リスクが高いことから、生物多様性国家戦略2023-2030に利用は行わないと記載されています。

RSセンター (種子専用貯蔵・製品化施設)

- ◆ 在来種子の中長期貯蔵が可能
- ◆ 現場周辺で採取した種子を用いる地域性種苗利用工にも対応可能

貯蔵方法の違いによる発芽率の推移(模式図)



種子専用貯蔵施設
各植物の特性に応じ湿度調整して貯蔵しています。



種子は、自動の計量袋詰装置で一施工単位で計量し、品質保持材とともに専用の種子小袋に袋詰めします。



種子小袋



種子小袋はダンボールに梱包して出荷します。

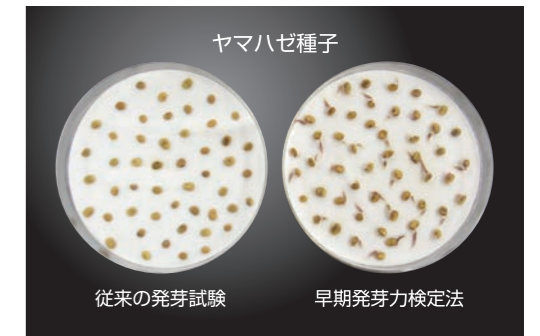
早期発芽力検定法 (NETIS:KT-060003-V、H25~活用促進技術、登録掲載期間終了)

- ◆ 休眠性のある種子でも、1週間前後で発芽率を検査
- ◆ 検定結果を速やかに種子配合設計に反映可能

早期発芽力検定法 7日

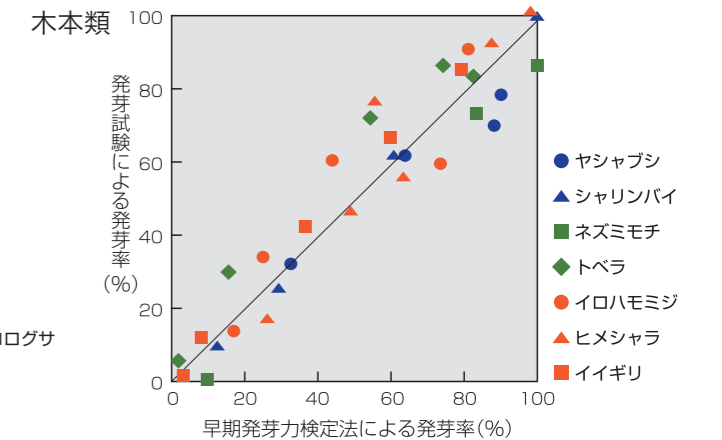
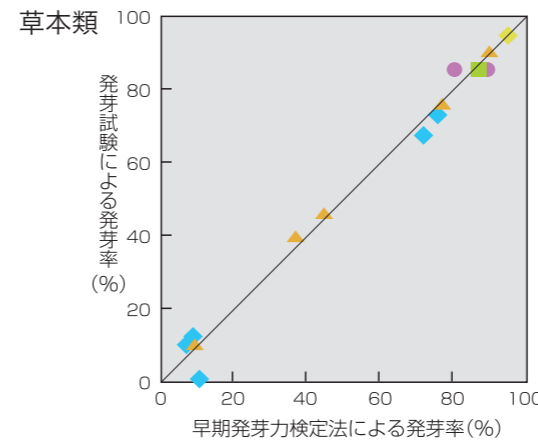
従来の発芽試験 30日

※発芽試験は長期間におよぶ種子もあるため、試験中にカビが発生して正確な発芽率を求めることは困難です。

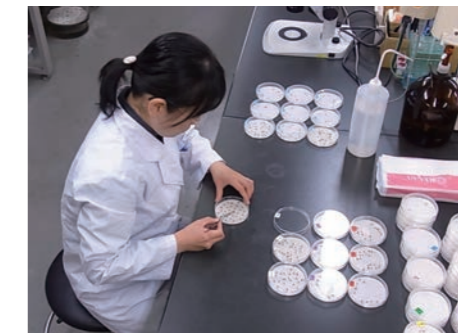


ヤマハゼ種子の播種5日後の比較
従来の発芽試験では変化は見られませんが、早期発芽力検定法では5日後に発芽しています。

早期発芽力検定法と発芽試験との相関関係



チカラシバ種子の播種7日後の比較

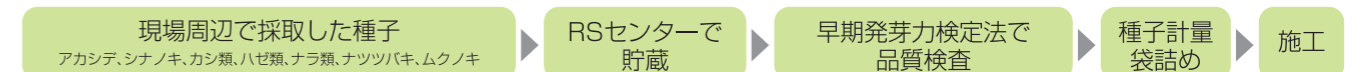


発芽個体の測定状況



日本緑化工学会賞(技術賞)を受賞

現地採取種子を活用した地域性種苗利用工の施工事例



施工前



10年4ヵ月後



現地採取したムクノキ